



高島市

生活支援コーディネーター だより VOL.02

【発行】 社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 地域福祉課 〒520-1532 高島市新旭町北畑 45-1 (新旭総合福祉センターやすらぎ荘)
TEL : 0740-25-5730 FAX : 0740-25-5177

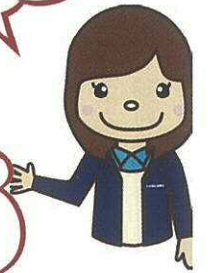
生活支援コーディネーターが 地域のつながり・支え合い活動を応援します!

生活支援コーディネーターとは?

別名「地域支え合い推進員」といい、住民相互の支え合い活動を推進し、暮らしやすい地域づくりのために、地域にあるさまざまな活動や交流等を発掘したり、地域で暮らす人々と専門職や制度につないだり、住民同士をつなぐなど、多様なネットワークを育てる「つなぎ役」です。

「こんなことができたらいいのになあ」「こんなこと困っている」このつぶやきが支え合い活動のはじまりです。

「支える」「支えられる」関係ではなく、みんなが役割を發揮できる地域社会を目指して!



私たちがあなたの地域の生活支援コーディネーターです!



《前列左から》

新旭 地域担当	・ ・ ・	にしむら 西村	かずま 一真
安曇川地域担当	・ ・ ・	くまがい 熊谷	ちかこ 智香子
高島 地域担当	・ ・ ・	はしづめ 橋詰	かつよ 勝代

《後列左から》

今津 地域担当	・ ・ ・	おがさわら 小笠原	しげる 滋
マキノ地域担当	・ ・ ・	たなか 田中	ゆうと 裕人
朽木 地域担当	・ ・ ・	みやた 宮田	さなえ 早苗

お気軽にお声かけください!



あなたの地域の生活支援コーディネーター

マキノ

担当：田中 裕人



ぬくもりウォーキングと地域行事の再開!!

中学生が育てたさつま芋で焼き芋を作り、ウォーキング参加者や地域の高齢者に提供してくれました。また、いろいろな屋台のお手伝いも行い、高齢者の話を中学生が傾聴したり、一緒にゲームをしたり、にぎやかな1日となりました。

11月に上開田小さなマルシェとコラボして、ぬくもりウォーキングを実施しました。地域の魅力再発見と健康づくりを目的に、ぬくもりウォーキングの開催を企画しており、上開田の高齢者から「みんなが集まってお喋りしたいが区の行事もない」と言った声があると聞きました。それならウォーキングに上開田で休憩を取り入れ、ウォーキング参加者が上開田の魅力を知り、また上開田の方も交流できるように開催しようと考え、実施にいたしました。上開田区長・有志の方と検討を重ね、当日はマキノ中学校1年生も参加してくれました。中学生が育てたさつま芋で焼き芋を作り、ウォーキング参加者や地域の高齢者に提供してくれました。また、いろいろな屋台のお手伝いも行い、高齢者の話を中学生が傾聴したり、一緒にゲームをしたり、にぎやかな1日となりました。



マキノぬくもり福祉ネットワーク × 上開田区 × マキノ中学校

のぞみのスマホ講座

～ちょっと教えて、ここがわからないの～

今 津

担当：小笠原 滋



「スマホは使う。でもわかりにくい。他にも同じような声を聞く。教えてもらえるのと助かる。」望みの郷自治会福祉推進委員長さんからそう聞いて、スマホ講座を二回開きました。講師は、高島市域担当生活支援コーディネーターの吉見さんです。ラインやインターネットの使い方、迷惑メールの削除方法など、時間はあつという間に進みます。自分のスマホで試しながら理解につながったときの笑顔が忘れられません。スマホは、使い方が誰でもすぐ理解できる機械ではない現状があります。使い方を誤れば危険につながる心配もあります。スマホを活用したいが一人では心細いという人にとっては、地域で学び合う機会が必要と考えます。これからも、地域住民の皆様、市域担当生活支援コーディネーターと共に豊かな日常生活を実現するために歩んで参ります。

「スマホは使う。でもわかりにくい。他にも同じような声を聞く。教えてもらえるのと助かる。」望みの郷自治会福祉推進委員長さんからそう聞いて、スマホ講座を二回開きました。講師は、高島市域担当生活支援コーディネーターの吉見さんです。ラインやインターネットの使い方、迷惑メールの削除方法など、時間はあつという間に進みます。自分のスマホで試しながら理解につながったときの笑顔が忘れられません。スマホは、使い方が誰でもすぐ理解できる機械ではない現状があります。使い方を誤れば危険につながる心配もあります。スマホを活用したいが一人では心細いという人にとっては、地域で学び合う機会が必要と考えます。これからも、地域住民の皆様、市域担当生活支援コーディネーターと共に豊かな日常生活を実現するために歩んで参ります。



スマホを活用したいとき、ちょっとしたアドバイスが助かります。@望みの郷自治会集会所

朽 木

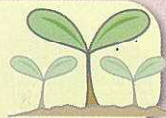
担当：宮田 早苗



「寄り合い処くつき」は心の居場所でもあるよ!



「寄り合い処くつき」ができて、はや6年、毎週金曜日に開催しています。開所当初は、みんなで昼食をとることもありましたが、コロナ禍をきっかけに、今は午前中のみ開催となっています。みんなで季節ごとの壁画を作ったり、地域の方に先生になってもらい、小物作りや体操、ゲームをして歌ったり、大笑いしたり。高島市民病院の理学療法士によるリハビリ教室でフレイル予防にも取り組んでいます。少し体力が落ちてきた方もおられますが、それでも、毎週足を運んでくださり、みんなと会えることを楽しみにされ心の居場所となっているようです。お休みの方がいると、心配している声が聞こえてきて、見守りの場にもなっています。送迎してくださる家族をはじめ、たくさんの方の協力により、6年間続けてこられたのだと実感しています。



一がホットなニュースをお届けします

「あどがわボランティアまつり」が地域に届けたもの

安曇川



担当：熊谷 智香子

★安曇川住民福祉ネットワークの決断

コロナ禍で止まってしまいつつある人々の交流。でも交流や社会参加こそが元気の源であることを、地域の活動者に伝い続けて約2年。安曇川住民福祉ネットワークでは今年度、ついに令和4年11月23日(水)3年ぶりに「あどがわボランティアまつり」を開催し、交流再開の1歩を踏み出しました。

★総勢約300名の参加

プログラムは、簡単な体操、おいしい食べ物提供、ボランティア活動や福祉推進委員会活動の紹介、子ども楽しめるコーナーもあり、久々にあった人とおしゃべりを楽しみ、誰もが元気で笑顔になった一日でした。活動のヒントとなることも盛りだくさんあり、持ち帰って地域でやってみます、という区もありました！



家ででもできる、つどいの場でもできる体操を教えてもらいました。



様々な団体とつながり、協働して開催

いろいろな催しやイベントが再開されつつあります。社会参加や運動が健康や元気の秘訣ということがわかりました。早く、安心して出かけることができる日が来ることを祈りますね。

「まちあかり」は多世代がつどう憩いの場！

高島



担当：橋詰 かつよ 勝代

新しい活動拠点(高島郵便局向かい)に移って1年になります。毎週火曜日は、高齢者を中心としたサロン型の居場所「お休み処まちあかり」の日。

「毎週会ってつながりを実感できるし、おしゃべりするだけでカラダの中から元気が湧いてくる！」「お休み処やもんな、こは。誰でも安心して行ける場所や。」などなど、参加されている方々の声です。

健康づくりをキーワードに、運動だけでなく、手作りのボードゲームで対戦を楽しむなど、頭の体操もしています。

第3土曜日は、子どもから大人まで、多世代で賑わう「まちあかり食堂」。定番のカレーライス



を食べながら、ここでも子どもから高齢者まで、世代を越えて「人と人がつながる場」が広がっています。

「お休み処まちあかり」も「まちあかり食堂」も、運営しているのは高島住民福祉ネットワークのメンバーですが、応援していただける個人や団体等、まだまだ募集中です！

地域の子どもも高齢者も「いきいき」と！

新旭



担当：西村 一真

今年度は「子どもも高齢者もいきいきできる」をキーワードに取り組みを進めています。

子ども食堂やふれあい食堂では、子どもだけが対象ではなく、子どもも高齢者もみんながいきいきできる場になるよう働きかけ、浸透しつつあります。区自治会でも子ども達と高齢者が協力した取り組みが進んでいます。

日爪区では地域の高齢者や区民が集う「七夕まつり」において、小学生が手紙付きミニ七夕飾りを持って一人暮らし高齢者宅へ訪問したり、いきいきサロンでは小学生が作ったピザを参加者にふるまひ交流が深まりました。深溝区では、いきいきサロンで回想法を通して子ども達が高齢者から地域のことについて学ぶ取り組みが実施されました。

小学生も地域の一人として活躍する場が生まれ、高齢者も交流を通して笑顔になり、みんなの心がホットする、そんなすてきな取り組みとなりました。



日爪区七夕訪問の様子



セーフティネット連絡会

(第2層生活支援体制整備協議体会議)をしました



※ セーフティネット連絡会とは…専門職と住民とが一堂に会して、地域の生活課題・福祉課題について話し合い、互いに連携、協働する場

マキノ

【認知症課題と見守りネットワーク活動】

10の区・自治会の福祉推進委員長と専門職が、高島市の認知症課題を共有し、活動の現状やこれから自分たちにできることを話し合いました。

地域の活動現状

サロンの定期的な開催、ウォーキング行事、フレイル講座、学習会、通学路の見守り、見守り会議開催。

これからできること

独居高齢者の見守り、小中学生と連携、学びの場づくり等。

今津

【見守りネットワーク活動の推進】

栄区福祉推進委員会の子ども会とコラボした見守り活動などの事例発表が共感を呼びました。令和2年度の話合いを元に作った「ふくしスゴロク」で交流したところ、地域で取り組みたいという声もありました。(ふくしスゴロク拡大版は、貸出可能です。)



朽木

【大雪と防災】

昨年度の大雪について、皆さんとこれまでの取り組みを振り返り、今後に向けての備えができないか検討しました。2回目のテーマは「防災」。平成25年の台風18号水害から振り返り、情報の収集や発信、資機材や重機等、有事の際の備えなど、朽木の中で助け合える力を築くワークをしました。



安曇川

【生きづらさをかかえる子ども若者の支援】

地域の現状を知り、「社会とつながれる機会」について考えました。安曇川地域にもあったかい大人、信頼できる大人がいるよ、という発信をしていこうと住民さんから声があがりました。



高島

【高島地域の居場所づくり】

高齢者を中心にした通いの場「お休み処まちあかり」、多世代で賑わう「まちあかり食堂」、対象を限定しない居場所「カフェまちあかり」の現状を共有するとともに、これからの取り組みの方向性について話し合いました。



新旭

【子どもも高齢者もいきいきできる取り組み】

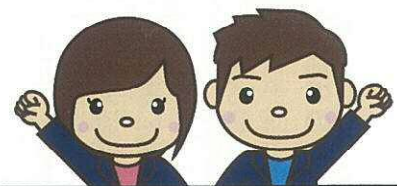
新旭子ども食堂開設から5年。子ども食堂は子ども達の居場所であり、高齢者の生きがいづくりの場にもなっています。新旭地域内の子どもたちの現状や取り組みを共有し、子どもも高齢者もいきいきできる取り組みについて話し合いました。

取り組み案(抜粋)

子どもから高齢者までみんなで取り組む防災活動、集会所を活用した多世代の居場所など

あ と が き

今年度は、「知ろう！考えよう！」「つながろう！」「関わろう！」「場所を作ろう！」の4つのテーマを中心に取り組みをしてきました。どの地域も住民の方や専門職と連携し、また次へつながる1歩が踏み出せました。



掲載内容に関するお問い合わせは
高島市社会福祉協議会地域福祉課
生活支援コーディネーター

電話：25-5730

FAX：25-5177